

# 令和8年度

## 技術開発・実証支援事業の概要

令和8年5月25日

産業経済部 企業政策室 工業雇用政策課



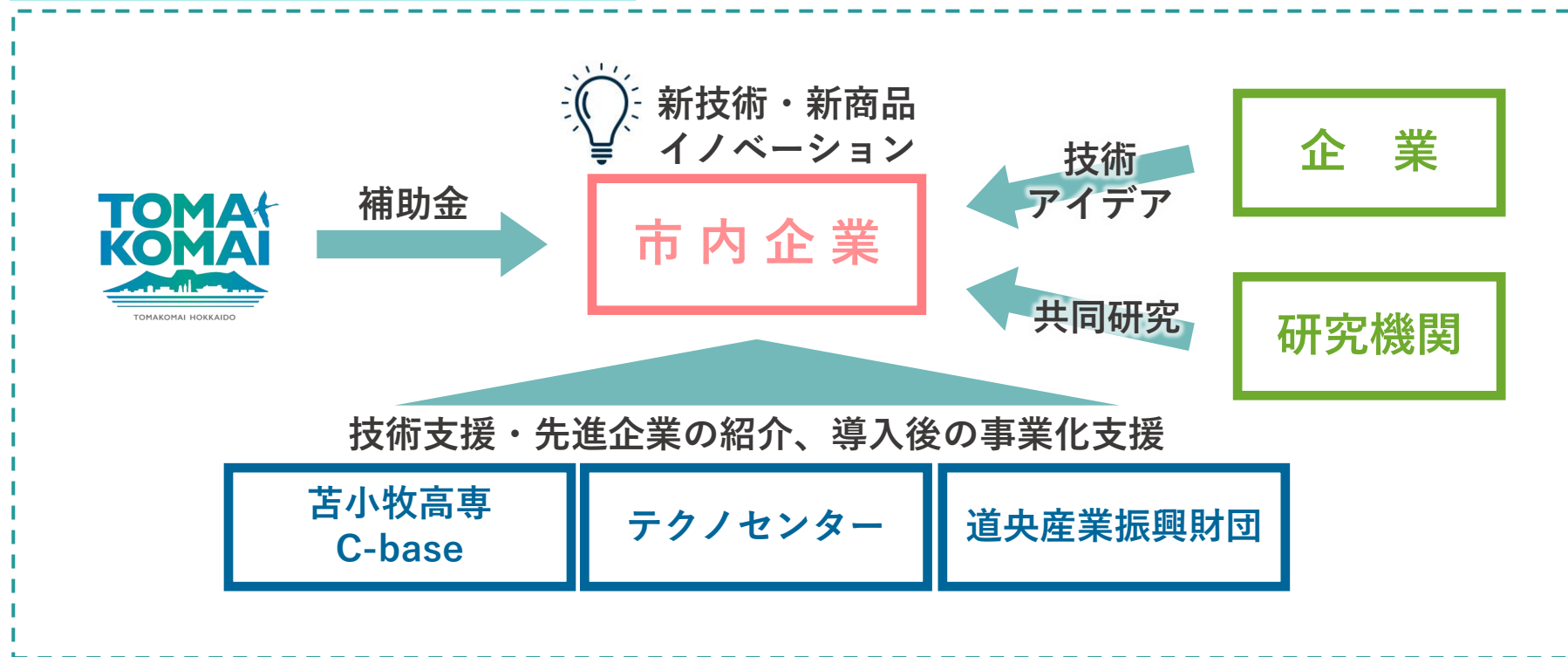
様式はQRコードから▶



# 01 事業の目的

先進技術や新たなアイデアを用いて、課題解決や新規事業の創出、共同研究を行う市内企業等を支援する。

## 事業開発・実証支援事業とは？



## 02 補助対象者の要件・対象となる事業

### 要件

1. 市内に事業所を有する企業であること。
2. 市税を滞納していないこと。
3. 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（昭和32年法律第122号）第2条に規定する風俗営業以外の営業に従事していること。
4. 事業主又は役員が、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員でないこと。
5. その他市長が補助対象者として不適当と認める事項

### 対象となる事業

- 新たな製品・技術・サービスの開発・改良
- 製品等の新たな生産方式の開発・改良
- 製品・サービスの新たな提供方式の構築・改良
- その他本市の産業振興に寄与すると市長が認めるもの

▶ **開発や実証実験を行い、その後に評価や効果検証を行う事業が対象となります。**

※開発等を伴わない既存設備・システム等の更新や修繕は対象となりません。

※同一の申請者が複数の申請はできません。

※交付決定前に着手した事業は対象となりません。

### 補助の対象範囲

企画  
事前検証

- ◆ 試作・開発・実証実験
- ◆ 技術・サービス検証
- ◆ 生産方式の開発
- ◆ 評価・検証・効果測定

販売  
ビジネス化

# 03 補助上限額・補助率・補助対象経費

**補助上限額**

200万円

**補助率**

➤ 中小企業等 **3/4**

➤ 大企業 **2/3**

※補助対象経費の額に補助率を乗じた額又は、200万円の低い方の額  
(1,000円未満の端数は切り捨て)

**補助対象経費**

右表参照



科目	補助対象となる経費の例
委託費	自社で行う業務の一部を委託する費用等
物品購入費	事業に必要な部品・機器類など ※補助事業以外の用途に使用しうる物品は除く
使用料	リース料、インターネット契約料、サービス利用料など ※補助事業期間のみ対象
印刷製本費	事業に必要な印刷物の作成費用等 ※商品チラシやパンフレット等の販促品は対象外
交通費	打ち合わせなどにかかる費用
消耗品費	開発する製品等に必要な消耗品 事業実施に必要な消耗品

**中小企業等**

- 中小企業者  
中小企業基本法第2条第1項に基づく「中小企業者」
- 小規模事業者
- 個人事業主
- 会社以外の従業員が300人以下の法人（一般社団法人）及び団体（協同組合等）

**大企業**

- 上記の中小企業者等以外の法人

業種	中小企業者（下記のいずれかを満たすこと）	
	資本金の額又は出資の総額	常時使用する従業員数
①製造業・建設業・運輸業・その他の業種（②～④を除く）	3億円以下	300人以下
②卸売業	1億円以下	100人以下
③サービス業	5,000万円以下	100人以下
④小売業	5,000万円以下	50人以下

## 04 申請時の提出資料

工業雇用政策課宛のメールに、**データを添付**しご申請ください。

➤ Mail : kogyo@city.tomakomai.hokkaido.jp

申請〆切 令和8年6月26日（金） 17：15まで

### 提出書類

- ① 技術開発・実証支援事業補助金交付申請書（別紙実施計画書を含む）
- ② 事業概要資料
- ③ 重要事項確認書・同意書
- ④ 申請者の概要がわかる資料（例：企業紹介冊子、ホームページなど）
- ⑤ 申請者の法人の登記事項証明書 ※個人事業主は個人事業の開業・廃業等届出書又は直近の確定申告書の写し

※ ①～③は市のホームページに様式を掲載しています。

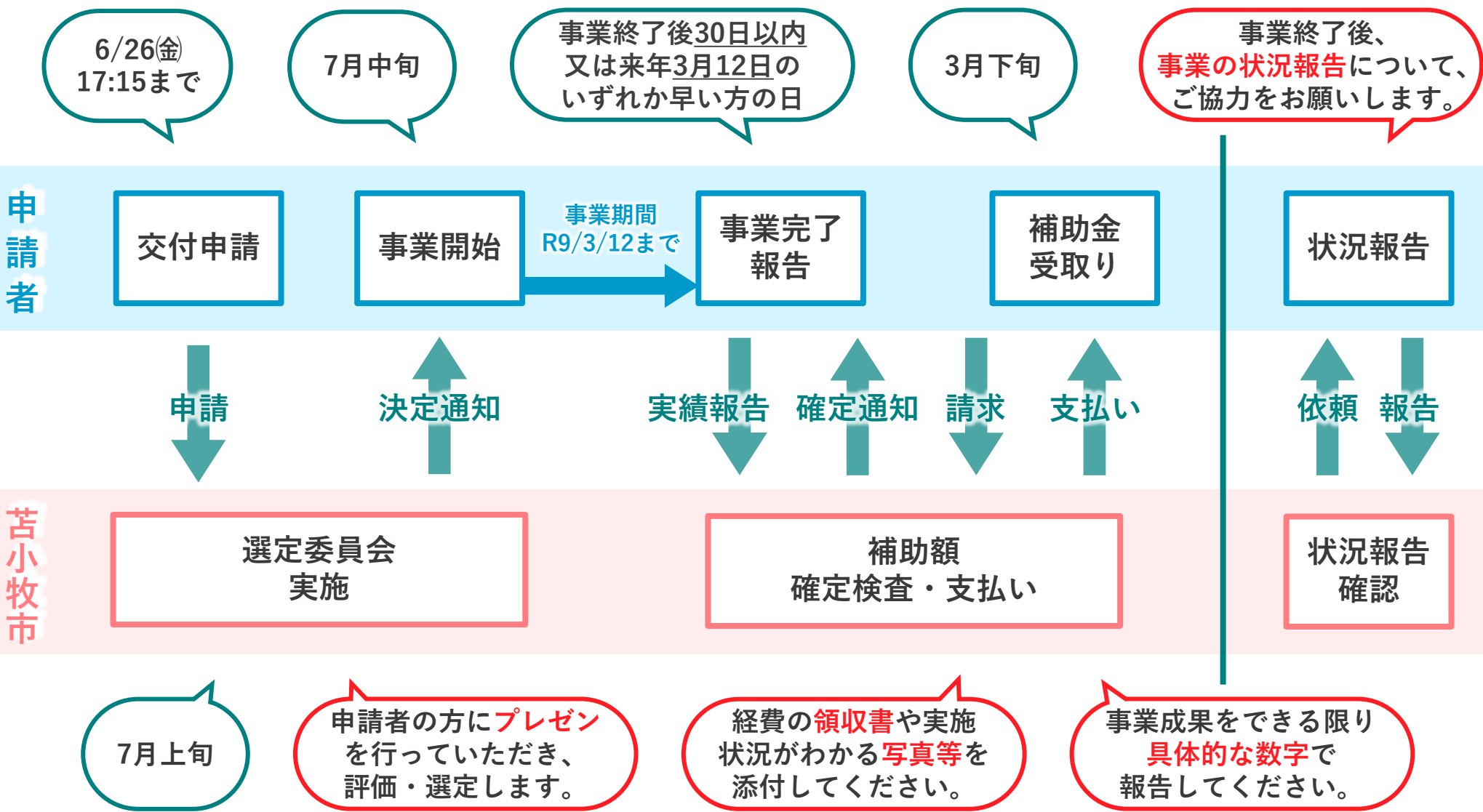
## 05 選定委員会・審査項目について

- 選定委員会を経て採択が決定されます
- 申請事業者は、**選定委員会でプレゼン**を行っていただきます
- 選定委員会では、**事業概要や下記の審査項目**について評価を行います
- すべての申請事業について、選定委員会で評価を行い、**予算の範囲内で評価の良い事業から順に採択**されます

### 審査項目

① 適格性	事業の目的に沿った事業内容か。事業費は妥当であるか。
② 新規性・独創性	事業の内容は、地域において、新規性・独創性の優位性が認められるか。
③ 需要の妥当性・事業効果	需要の根拠が明確であり、事業により課題が解決または、新規事業が創出されるか。
④ 実現性	事業の内容・計画は、実現性が望めるか。
⑤ 地域貢献性	事業の内容は、他の企業や市全体へ良い影響を与えるか。

# 06 事業スケジュール



## 07 技術開発・実証支援事業 Q&A

### Q1 申請した事業は、すべて採択されるか。

申請受付を締め切り後、選定委員会を経て採択が決定されます。  
選定委員会では、申請者にプレゼンを行っていただき、評価を行い、予算の範囲内で評価の良い事業から順に採択されます。

### Q2 事業費の下限はあるか。

ありません。

### Q3 事前に補助金を受け取り、事業を遂行することができるか。

実績報告に基づいた精算払いのため、補助金を事前にお支払いすることはできません。

### Q4 実績報告はいつまでに提出しなければならないのか。

事業終了の日から30日以内または、令和9年3月12日のいずれか早いほうの日までに、実績報告書に添付書類を添えて提出してください。

### Q5 実績報告の添付書類は何か。

事業に係る経費の領収書の写し（またはこれに準じる書類）及び事業内容や実施状況を確認できる記録写真等の資料です。

### Q6 来年度以降も報告する必要があるか。

来年度から2年間、当該事業について、事業化や商品化についての状況報告の依頼をしますので、ご協力をお願いします。

### Q7 先進技術や先進サービスを持つ企業を紹介してもらえるか。

技術支援や先進企業の紹介など、様々な相談は  
苫小牧高専「C-base」や苫小牧市テクノセンター、（公財）道央産業振興財団へご相談ください。

【C-base】0144-61-1102

【テクノセンター】0144-57-0210

【道央産業振興財団】0144-51-2770

## 苦小牧栗林運輸株式会社 × 株式会社ポータス 「AI 番割 (作業配置)」開発による作業管理システムの改善

概要

事業イメージ (全体像)

### 背景/課題

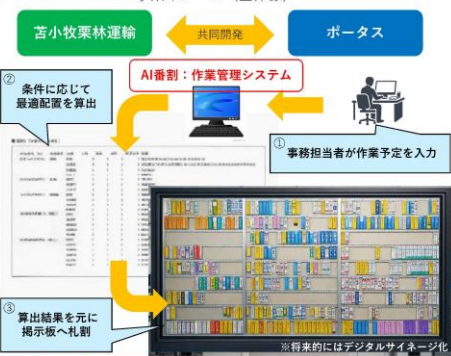
- 日々、100名以上の作業員を管理者が手作業で配置 (番割) している。資格・経験・時間外勤務・業務バランスなど多くの条件を考慮する必要があり、管理者の経験に依存しやすい
- 最終的な作業配置作成には管理者4名で約2時間を要し、業務負担が大きい

### 事業内容

- 既存作業管理システムを基盤にAI番割システムを共同開発。生成AIではなく、条件制約を考慮した数理最適化AIを採用
- 作業員スキル・資格・作業条件を基に最適配置を自動算出。現在は管理者評価を踏まえ精度向上の改良を実施中

### 事業効果/成果

- 配置作成時間: 従来 約2時間 → AI出力 約1分 & 最終配置作業 約30分程度で完了可能
- 時間外勤務の標準偏差: 8.4 → 5.6 (平均化)
- 業務効率化、配置公平性向上が期待



### 今後の事業展開

- 汎用的に利用可能なパッケージ版として整備
- 外部販売時はロイヤリティ等の収益分配を想定
- 港湾業界のDX推進・人手不足解消に寄与

## (株)アタカ造船所 × 苦小牧高専 × (株)西日本流体技研 『船舶の船底改良による省エネルギー船の確立』

概要

事業イメージ (全体像)

### 背景/課題

- 燃料高騰により漁業者が大変厳しい状況となっている。
- 世界的にも環境配慮を高く企業に求めている
- 小型船舶では「水槽模型試験」の実施が少ない
- 各造船所で省エネルギー化に向けた設計が行われていない

### 事業内容

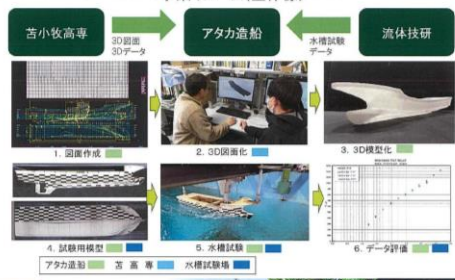
- 船底改良に着目した設計を行う
- 3D図面、3D模型を製作する
- 水槽試験を行い、抵抗値、走り姿、トリム、浸水表面積、沈下量、有効馬力BHP、制動馬力BHP値を比較・評価を行う

### 事業効果/成果

- 船底の改良を行い燃費消費を削減する「省エネルギー船」が設計出来た。
- 水槽模型試験を実施し、定性的・定量的に評価できた (各種データの取得)
- 新造船で5.2%、既存船で4.4%とそれぞれに良いデータを出すことが出来た。

### 今後の展開

- 省エネルギー船は漁業者に貢献できる
- 環境に貢献できる
- 知的財産 (特許) 取得に向けて
- 他社との差別化、販路拡大に繋がる
- カーボンニュートラルへの行動加速化



## 岩倉化学工業株式会社 × 英機工業株式会社 × 室蘭工業大学 ジオポリマーバインダーを用いた環境配慮型無機質建材板の製造技術の開発

概要

事業イメージ (全体像)

### 背景/課題

- 持続可能な社会への実現に向けて、建築材料は耐久性や不燃性、低環境負荷が求められている。
- 優れた耐久性や不燃性を持つ無機材料であるジオポリマーに着目し、建材ボードの製造技術の検討を室蘭工業大学や道総研工業試験場の協力のもと行ってきたが、ラボスケールの域を出てはいない。

### 事業内容

- 本事業の建材ボード製造技術である、低熱・低圧プレス法は一般的なジオポリマー成形方法とは異なり、大判で薄板状のものを作る全く新しい技術である。
- スケールアップ試作は大型熱プレス装置等を保有している英機工業株式会社に依頼し、建材ボードの分析と評価は室蘭工業大学の協力のもと検証する。

### 事業効果/成果

- スケールアップ試作を行うことにより、実用サイズでの製造技術の検証を実施することができた。ジオポリマーの新規用途の開拓に一歩近づいた。
- 地場で発生するフライアッシュを原料に使用でき、また今後の発展形として、その他の廃棄物 (バイオマス燃焼灰、貝殻廃棄物、廃発泡スチロールなど) を使用可能とする、新たな建材ボード製造技術の課題が明らかになった。



### 今後の事業展開

- 地場で発生する各種廃棄物及び地場未利用鉱物資源等の使用拡大、コストの最適化実施。
- 建材ボードの製造プロセスの設計と製造装置の開発
- 苦小牧の全く新しい環境にやさしく、高耐久で、高性能な建材の実用化は世界初の技術であり、その商品性を全国にアピールし、新たなビジネスを創出する。

過去の採択事例の詳細については、  
下記QRコードからご覧ください！

